

今年こそJ1へ!!

2012年にJFL(日本フットボールリーグ)から見事J2(Jリーグ第2部)へ進んだV・ファーレン長崎。「飛翔」をキャッチフレーズに、進出の勢いを保ちながら快進撃を続け、1年目にしてJ1(Jリーグ第1部)目前まで上り詰めました。もしかするとこのままJ1に進めるのでは、と応援する誰もが希望を胸に1戦1戦を見守りましたが、昇格をかけて勝利が絶対条件だったプレーオフの試合で、強豪京都サンガF.C.と惜しくも引き分けに終わりました。残念ながらJ1にあと一步のところまでJ2に留まることになりましたが、それでも結果としてJ2での1年目に6位というのは、堂々と胸を張れる成績です。

そしてチームの実力だけではなく、V・ファーレン長崎を取り巻く環境も充実度を増しました。12人目の選手であるサポーターに関しては、JFL時の2012年は6万人だった観客動員数が、2013年にはなんと12万人へと倍に跳ね上がりました。市立図書館でも、クラブマスコットのヴィヴィくんが来館すると、賑やかな声が飛び交いますし、クロスロードで展示をすると、毎回多くの方が足を止めてご覧になり、注目度は抜群です。またクラブの設備についても、すでにJ1への条件は満たしており、昇格への道は着々と整っています。

3月から始まるシーズンに向けて、選手もサポーターも今から気持ちが高まっていることと思います。2014年も長崎市立図書館はV・ファーレン長崎を全力で応援します。チーム・サポーター一丸となって、今年も盛り上げていけたらいいですね。



<図書館カレンダー>

- ※ 毎週**火曜日**は
休館日です。
- ※ 開館時間
10:00~20:00



1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

長崎市立図書館 市民のための健康講座 「知っておきたい心臓病のはなし」

今回の健康講座は、日本人の死因第2位となっている「心臓病」をテーマに12月1日(日)に開催し、104名が参加されました。講師には、長崎市立市民病院の竹下聡氏にお越しいただきました。実際の症例をあげてのお話は、専門的ながらも映像や写真を使っていたため、とてもわかりやすかったとの声が多く、皆さん熱心に耳を傾けていました。講座の開始前と終了後には健康相談会もあり、参加者の皆さんが気軽に質問できる機会となりました。

心臓病に対して意識したことがない方でも、このような講座に参加することによって身近に感じ、予防の啓発につながったのではないのでしょうか。

図書館を単なる「本を借りる・返す」だけの場ではなく、日常生活における課題解決の場として、もっとも有効的に活用していただければと思います。何かについて、知りたい・調べたいと思った時、図書館に来てみてください。図書館にはたくさんの資料と、1年間を通じて様々な講演会や講座があります。これからも皆さんの生活に役立つ図書館であるよう努めてまいります。



イベント
開催時には
関連展示も
行っています。

としょかんでシネマ 名作を味わう上映会

図書館では、児童向け・一般向けにそれぞれ月1回、定期的に上映会を行っています。今回は、定期上映会とは別に、12月21日(土)と22日(日)の2日間に渡って、参加者からの声が多かった、往年の名優の出演作品や名作と呼び声の高い作品を集めて、特別上映会を開催しました。一般向けの定期上映会は夜に開催していますが、今回の特別上映会は各日共お昼に上映があったので、平日夜の定期上映会にはご来場が難しい方にもお越しいただけたのではないのでしょうか。

また、市立図書館では新しい企画として、「バリアフリー上映会」もあります。視覚や聴覚に障がいを持つ方にも映画を楽しんでいただけるよう、音声解説付き・日本語字幕付きのものを上映しています。

図書館では、多くの方に楽しんでいただけるように上記のような様々な上映会を行っています。いずれの上映会も、どなたでもお気軽にご入場いただけます。開演前後に図書館内にも足をお運びいただき、映画に関連する資料や、最近関心があることの本を探して、読んで、借りていただければ幸いです。

上映会の内容は、館内のポスターで随時ご確認ください。皆様のご来場をお待ちしております。





「旅と馬」

2人の図書館員がテーマに沿って本を紹介！！



『旅のラゴス』
筒井 康隆／著
新潮社
B913.6 ツツ

今年の干支は午です。今では日常的に見かける機会は少なくなった馬ですが、自動車の出現までは移動手段として欠かせないものでした。どこか遠くへ行きたいと思うとき、人は馬に乗って旅に出たのです。

筒井康隆『旅のラゴス』の舞台は、一度は築かれた高度な文明が廃れてしまった世界。生活レベルが中世のころまで逆戻りしたかわりに、人類は共感力や微力な念動力などを獲得しています。主人公のラゴスは失われた知識を求め、先祖たちの遺跡をめざして旅に出ます。厳しい旅のさなか、主人公は馬と心を通わせ、ときには馬とともに空を駆けて危機を脱します。神話を思わせる力強い物語の中で、主人公と馬の友情が印象的に描かれています。

一方、パトリック・デウィット『シスターズ・ブラザーズ』で描かれるのは、19世紀、ゴールドラッシュに沸くアメリカ。「シスターズ」というのは主人公たちの名字で、殺し屋のシスターズ兄弟がターゲットを追ってアメリカ西部を旅するドタバタ喜劇です。倫理観が乱れ、人命も軽く扱われる殺伐としたオレゴンで、主人公の愛馬は傷を受け、満足に走れなくなってしまいます。相棒に馬を捨てるよう諭されながらも愛馬をかばいつづける主人公の姿が、ブラックユーモアに満ちたこの小説を味わい深いものにしています。



『シスターズ・ブラザーズ』
パトリック・デウィット／著
茂木 健／訳
東京創元社
M933.7 デ

午年の今年、馬が登場する本を読んで、長い年月を人間とともに旅してきたこの動物に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(司書：小田 悠)

「人と馬の関わり」

新しい年が始まりました。鏡餅や門松を飾り、お節料理やお雑煮を頬張る。日本のお正月ではお馴染みの光景です。今年^{うまどし}は午年ですが、その年の干支の置物を飾るのも十二支それぞれの動物に縁起の良い意味があるからです。

ご紹介する本は、そんなおめでたい物や習わしについて京都の町を背景に解説した『縁起物』です。人との関わりが古い「馬」は人に力を与えるものと考えられ、合格や病平癒、縁談などの招福があるそうです。その他にもこの本では「招き猫」や「福助」など、知っているようで意外と知らない縁起物のあれこれが紹介されています。

次にご紹介する本は、『私、コスモの目になる！』です。学生馬術競技会において「女王」と呼ばれた名馬タカラコスモス（愛称 コスモ）は、失明により競技馬としての道を閉ざされます。目が見えない不安から心を閉ざしてしまうコスモ。「見えないのなら、私が見てあげよう。」コスモの目になることを決意した馬術部の少女。そんな少女の思いが両者の心を少しずつ近づけていく記録が綴られています。盲目の馬が少女の騎乗で再び競技会で駆けめぐるとの交流は、私達に命の大切さや、あきらめないという心の強さを教えてくれます。

午年^{うまどし}の縁起にあやかり、今年も良い年になりますように！！

(スタッフ：辻 成美)



『縁起物』
岩上 力／著
光村推古書院
387 イ



『私、コスモの目になる！』
橋内 美佳／取材と文
主婦と生活社
645.2 キ

長崎天領ライオンズクラブは、多様化する人間社会の中、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨でチャリティーコンサートを開催し、その収益金で平成15年に文庫を創設されました。

今年度は長崎くunchi出店の収益金の一部で、42冊（5万円相当）の図書を寄贈されました。これまでにいただいた図書は596冊（71万円相当）になります。



図書貸出券には有効期限があります



- 登録された日以降の誕生日から3年2ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の6ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヶ月前から、カウンターにて更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの（免許証や保険証など）の提示をお願いいたします。（小学生以下の方は申請書の記入のみ）
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- **有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館ラジオ♪

毎月第2金曜日午後2時、長崎シティFM (81.3MHz) 「ウィーパラライブラリー」で放送中です!



『ルリユール』 村山 早紀/著 ポプラ社 Y913.6 ムラ

タイトルの『ルリユール』とは、手作りで本を仕上げる製本技術のこと。クラウディアは腕のよいルリユール職人。ある日、彼女のもとに中学1年生の瑠璃という少女が弟子入りすることになり……。魔法のような手技を持つクラウディアと瑠璃がくりひろげる、本を愛する人の美しく不思議な物語。著者は長崎県出身です。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	講談社	440	6	禁断の魔術	東野 圭吾	文藝春秋	189
2	ホテルローヤル	桜木 紫乃	集英社	395	7	ロスジェネの逆襲	池井戸 潤	ダイヤモンド社	185
3	海賊とよばれた男(上)	百田 尚樹	講談社	270	8	だから荒野	桐野 夏生	毎日新聞社	158
4	夢幻花	東野 圭吾	PHP研究所	200	9	疾風ロンド	東野 圭吾	実業之日本社	157
5	永遠の0	百田 尚樹	講談社	195	10	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上 春樹	文藝春秋	145

(2013年12月15日現在)